

# リアル二刀流見参!

## 花園サミツ・宮原選手、投打にわたる活躍で連勝を伸ばす 野球協リーグ戦注目のチーム・中盤レポート

3月14日（日）開幕の千葉県野球協リーグ戦も順調に試合を消化。試合数が少ないチームでも4試合、多いチームでは6試合を行っている中盤戦にかかる時期となり、今年初めてリーグ戦に参加した「花園サミツ」が負けなしの連勝を続けている旨の情報を聞き、果たしてどんな試合を行っているのか興味もあり、5月30日（日）稲毛海浜公園野球場で開催された「花園サミツ」対「フランシェ」の試合を連盟機関紙「Sports Netちば」の記事作成も兼ねて観戦してきました。

試合前に花園サミツ・富ヶ原キャプテンに今日の試合に臨む気持ちを伺ったところ「まずは守備でリズムを掴み、全員野球で臨みたい。」とのこと。

メンバーを見れば全員とにかく若い。全員が24歳という躍動感あふれるチームとみました。

先行「花園」後攻「フランシェ」で午前10時45分プレーボール。1回表・花園の各バッターは相手投手のコントロールの乱れで掴んだ満塁のチャンスを生かしきれず、クリーンアップは力が入り過ぎたのかボツ

　　プロライを打上げるばかりで無得点。

その裏のフランシェの攻撃は、花園・宮原将大投手の速球にきりきり舞いとなり無得点に終わる。

このまま、投手戦になるのかな?と思いつや、2回表は花園の打線爆発。先頭打者がセカンドゴロとなるも俊足を生かしてセーフ。すかさず2盗、相手側の守備の乱れ、タイムリーで2点先取、その後、塁を埋めたところでこの日3番に入った宮原投手のスリーランとなるランニングホームランで一挙5点のビッグイニング。正に今大リーグを連日賑わせている大谷翔平選手張りにリアル二刀流を見せてくれました。

2回裏以降は2塁を踏ませぬ宮原投手の速球がさえわたり完封を飾りました。なお、花園は3回以降

も攻撃の手をゆるめず4回表に2点、5回表に7点と



合計14点の大量得点となりました。

フランシェの5回裏の攻撃が終わっ

た時点で規定によりコールドゲーム。これで花園は連勝が更に伸びて5勝0敗1引き分け。現在3部で同じく5連勝している「テルク」と激突する6月27日（日・古市場球場）の試合が3部優勝を掛けた事実上の優勝戦と言えそうです。

試合終了後に富ヶ原キャプテンにインタビュー。

勝因はと問うと「ピッチャーが良く投げてくれたので守備もリズム良くはいれました。声を掛け合い点差は開きましたが集中力を切らすことありませんでした。」宮原投手の投打にわたる活躍を聞くと「今日の勝利は彼の活躍につきますが、本来の四番打者は用事があり今日はこれなかったんです。」花園持つ若さと潜在能力が益々楽しみになりました。



試合結果は次のとおりです。

チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	計
花園サミツ	0	5	0	2	7	14
フランシェ	0	0	0	0	0	0

同日行われた他の試合結果：第1試合：放医研 vs 虚人スターズ：5-0／第3試合：黒猫vs Brothers：0-0／第4試合：東熱ダイナマイツvs FC：15-0